

報道関係者 各位

平成 24 年 2 月 22 日

【照会先】

大臣官房統計情報部社会統計課縦断調査室

室長 福元 俊成(内線 7571)

室長補佐 相原 陽二(内線 7593)

中高年者調査係(内線 7594)

(代表電話) 03-5253-1111(内線 7594)

(直通電話) 03-3595-2323

第6回「中高年者縦断調査(中高年者の生活に関する継続調査)」の結果 ～対象者の団塊世代の多くは健康で働く意欲が高いことが明らかに～

厚生労働省では、このほど、同じ集団を対象に毎年実施している「中高年者縦断調査(中高年者の生活に関する継続調査)」の第6回(平成 22 年)結果を取りまとめました。今回は縦断調査の特性を生かし、50代をどのように過ごせば、高年齢期に健やかで充実した生活を営むことができるか、特に団塊の世代を含む60歳以上(60～64歳)の男女に焦点を当て、就業意識とその実態や健康状態について分析しました。

「中高年者縦断調査」は、平成 17 年 10 月末に 50～59 歳であった全国の中高年者世代の男女に対して、家族の状況、健康の状況、就業の状況などを継続的に調査し、高齢者対策などの厚生労働行政施策のための基礎資料を得ることを目的としています。第6回調査では、平成 17 年度の第1回調査から継続して協力が得られた 25,157 人について集計しており、調査対象者の年齢は、55～64 歳となっています。

【調査結果のポイント】

以下はいずれも、第6回調査時に 60～64 歳の男女、13,792 人の回答について分析した結果。

1 就業希望と実態

第1回調査(55～59 歳)時に、60～64 歳の時点で「仕事をしたい」と希望していた人のうち、今回の調査で「仕事をしている」人の割合は 74.8%。その理由としては、「現在の生活費のため」など生活費に関わる理由が最も多いほか、「健康を維持するため」、「今の仕事が好きだから」、「社会とのつながりを維持したい」などの回答が多い。(3頁 表1、4頁 図1)

2 65 歳以降の就業希望

今回の調査時に仕事をしている 60～64 歳の男女のうち、65～69 歳の時点でも「仕事をしたい」と回答した割合は 56.7%、70 歳以降でも「仕事をしたい」割合は 28.7%。(5頁 表3、6頁 表4)

3 生活のまかない方の希望と実態

第1回調査時に、60～64 歳の時点での生活を、主に「本人が働いて得た所得」でまかなうつもりだった人のうち、今回の調査時の収入の中に「働いて得た所得」がある割合は 70.9%。一方、主に「公的年金」でまかなうつもりだった人でも、収入の中に「働いて得た所得」がある割合は 46.5%で、特に男性は 60.4%と高い。(8頁 表5)

4 健康維持のために心がけていること

今回の調査で健康状態が「よい」と回答した人の割合は 79.4%。中でも、第1回調査時から継続して健康維持のために心がけていることが「適度な運動をする」、「年に1回以上人間ドックを受診する」、「ストレスをためない」とした人は、割合が高い。(11頁 表8)

詳細は、別添概況をご覧ください。

平成 24 年 2 月 22 日

【照会先】

大臣官房統計情報部社会統計課縦断調査室

室長 福元 俊成(内線 7571)

室長補佐 相原 陽二(内線 7593)

中高年者調査係(内線 7594)

(代表電話) 03-5253-1111(内線 7594)

(直通電話) 03-3595-2323

第 6 回中高年者縦断調査（中高年者の生活に関する継続調査）の概況

目 次

	頁
調査の概要	1
結果の概要	3
1 「60～64 歳」の者の生活の状況	3
(1) 就業希望と実態	3
(2) 現在仕事をしていない者の就業希望	4
(3) 65 歳以降の就業希望	5
(4) 第 1 回調査時の勤め先における定年制度ごとの第 6 回調査の就業状況	7
(5) 生活のまかない方の希望と実態	8
(6) 借入金、預貯金と仕事の状況	9
(7) 仕事のための免許・資格の取得の有無及び 能力開発・自己啓発の実施の有無と仕事の状況	1 0
(8) 健康状態の変化及び健康維持のために心がけていること	1 0
2 家族の状況	1 2
参 考	1 3
用語の定義	1 4

第 6 回中高年者縦断調査の結果は、厚生労働省ホームページにも掲載されています。

アドレス（ http://www.mhlw.go.jp/toukei_hakusho/toukei/ ）

調 査 の 概 要

1 調査の目的

この調査は、団塊の世代を含む全国の中老年者世代の男女を追跡して、その健康・就業・社会活動について、意識面・事実面の変化の過程を継続的に調査し、行動の変化や事象間の関連性等を把握し、高齢者対策等厚生労働行政施策の企画立案、実施等のための基礎資料を得ることを目的として、平成 17 年度を初年として実施しているものである。

2 調査の対象及び客体

平成 17 年 10 月末現在で 50～59 歳であった全国の男女を対象とし、そのうち、第 4 回調査又は第 5 回調査において協力を得られた者を客体とした。

第 6 回調査における対象者の年齢は、55～64 歳である。

3 調査の期日

調査の周期 毎年 1 回（11 月の第一水曜日）

調査の期日 第 6 回調査 平成 22 年 11 月 3 日（水）

4 調査の事項

家族の状況、健康の状況、就業の状況、住居・家計の状況 等

5 調査の方法

厚生労働省から郵送された調査票に被調査者が自ら記入し、郵送により厚生労働省に提出する方法により行った。

6 調査の系統

厚生労働省 ——— 被調査者
郵送

7 結果の集計及び集計客体

(1) 結果の集計

集計は、厚生労働省大臣官房統計情報部で行った。

(2) 調査客体数等

調査客体数、回収客体数は以下のとおりである。

	対象者の年齢	調査客体数	回収客体数	回収率
第1回調査	50～59歳	40,877	34,240	83.8%
第2回調査	51～60歳	35,007	32,285	92.2%
第3回調査	52～61歳	32,195	30,730	95.4%
第4回調査	53～62歳	30,773	29,605	96.2%
第5回調査	54～63歳	29,548	28,736	97.3%
第6回調査	55～64歳	28,554	26,220	91.8%

(3) 集計客体数

本概況では、第1回調査から第6回調査まで集計可能である25,157を集計客体とした。

8 利用上の注意

(1) 表章記号の規約

計数のない場合	—
比率が微少(0.05未満)の場合	0.0

(2) この概況に掲載の数値は四捨五入しているため、内訳の合計が「総数」に合わない場合がある。

(3) この概況の掲載の数値には、統計数が僅少のため利用する際に注意が必要なものが含まれる。

結果の概要

1 「60～64歳」の者の生活の状況

(1) 就業希望と実態

第1回調査(55～59歳)時に60～64歳は「仕事をしたい」と希望していた者のうち、第6回調査で「仕事をしている」者の割合は74.8%

第1回調査時に60～64歳の就業希望について回答した結果と、第6回調査の仕事の有無をみると、第1回に「仕事をしたい」と希望していた者のうち、第6回で「仕事をしている」割合は74.8%となっており、性別にみると男81.4%、女66.8%と男の方が高くなっている。一方、第1回に「仕事はしたくない」と希望していた者のうちでも、第6回で「仕事をしている」割合は28.3%となっており、性別にみると男46.3%、女21.7%と男の方が高くなっている。

また、男女別に仕事のかたちをみると、男で第1回に「仕事をしたい」では、「自営業主・家族従業者」が24.3%、「仕事をしたくない」では、「労働者派遣事業所の派遣社員、契約社員・嘱託」が13.7%と多くなっており、女では、いずれも「パート・アルバイト」が多くなっている。(表1)

表1 第1回調査における60～64歳の就業希望の有無・希望する仕事のかたち別にみた第6回調査の仕事の有無・仕事のかたち

(単位:%)

		第6回の仕事の有無・仕事のかたち									
		総数	仕事をしている	第6回の仕事の有無・仕事のかたち						仕事をしていない	
				自営業主、 家族従業者	会社・団体等 の役員	正規の職員・ 従業員	パート・ アルバイト	労働者派遣事業 所の派遣社員、 契約社員・嘱託	家庭での内職 など、その他		
第1回 の 60 ～ 64 歳 の 就 業 希 望 ・ 希 望 す る 仕 事 の か た ち (複 数 回 答)	60～64歳 総数	(100.0)	100.0	62.0	17.2	4.0	11.0	16.4	10.5	2.7	37.8
	仕事をしたい	(71.2)	100.0	74.8	21.7	4.9	13.4	19.2	12.6	2.8	25.1
	自営業主、家業の手伝い	(20.5)	100.0	87.6	66.3	6.1	3.9	5.2	3.5	2.3	12.4
	雇われて働く(フルタイム)	(15.9)	100.0	81.1	2.8	5.4	31.5	14.4	25.3	1.6	18.7
	雇われて働く(パートタイム)	(21.0)	100.0	65.5	2.8	1.1	8.3	40.5	10.8	1.8	34.4
	近所の人や会社に頼まれて任意に行う仕事、 有償型の社会参加活動	(9.6)	100.0	63.6	8.2	5.6	11.1	18.4	16.4	4.0	36.4
	家庭での内職など、その他のかたち	(6.3)	100.0	62.7	8.9	8.6	9.7	15.7	9.7	9.7	37.2
	まだ考えていない	(5.3)	100.0	66.7	8.0	5.6	19.3	14.4	15.7	3.7	33.0
	仕事はしたくない	(24.9)	100.0	28.3	5.1	1.9	4.7	8.8	5.6	1.9	71.5
	男	(100.0)	100.0	75.9	21.5	6.8	17.3	10.1	17.7	2.4	23.9
	仕事をしたい	(82.8)	100.0	81.4	24.3	7.3	18.5	10.5	18.7	2.1	18.5
	自営業主、家業の手伝い	(25.7)	100.0	91.6	68.5	7.4	5.2	3.4	5.1	1.8	8.4
	雇われて働く(フルタイム)	(27.2)	100.0	81.3	3.1	6.2	30.7	11.9	27.8	1.4	18.5
	雇われて働く(パートタイム)	(12.8)	100.0	71.1	4.2	2.9	15.9	21.7	24.1	2.0	28.9
近所の人や会社に頼まれて任意に行う仕事、 有償型の社会参加活動	(11.2)	100.0	72.8	9.3	8.6	16.3	13.3	23.1	2.2	27.2	
家庭での内職など、その他のかたち	(5.7)	100.0	74.9	10.7	16.0	17.3	8.3	18.7	3.7	24.8	
まだ考えていない	(7.4)	100.0	74.9	8.4	7.0	25.1	9.7	20.9	3.9	24.8	
仕事はしたくない	(14.0)	100.0	46.3	5.8	4.8	11.0	7.6	13.7	3.4	53.3	
女	(100.0)	100.0	49.4	13.4	1.5	5.3	22.0	4.1	2.9	50.4	
仕事をしたい	(60.7)	100.0	66.8	18.5	2.0	7.2	30.1	5.1	3.7	33.1	
自営業主、家業の手伝い	(15.9)	100.0	81.7	63.1	4.2	2.1	7.8	1.2	3.1	18.1	
雇われて働く(フルタイム)	(5.6)	100.0	80.4	1.7	2.0	34.8	25.0	14.5	2.2	19.6	
雇われて働く(パートタイム)	(28.5)	100.0	63.2	2.2	0.3	5.2	48.1	5.4	1.7	36.6	
近所の人や会社に頼まれて任意に行う仕事、 有償型の社会参加活動	(8.1)	100.0	52.2	6.8	1.9	4.6	24.7	8.0	6.3	47.8	
家庭での内職など、その他のかたち	(6.9)	100.0	53.4	7.6	3.0	4.0	21.3	3.0	14.3	46.6	
まだ考えていない	(3.3)	100.0	50.0	7.1	2.9	7.5	24.2	5.0	3.3	49.6	
仕事はしたくない	(34.8)	100.0	21.7	4.9	0.8	2.5	9.2	2.6	1.4	78.1	

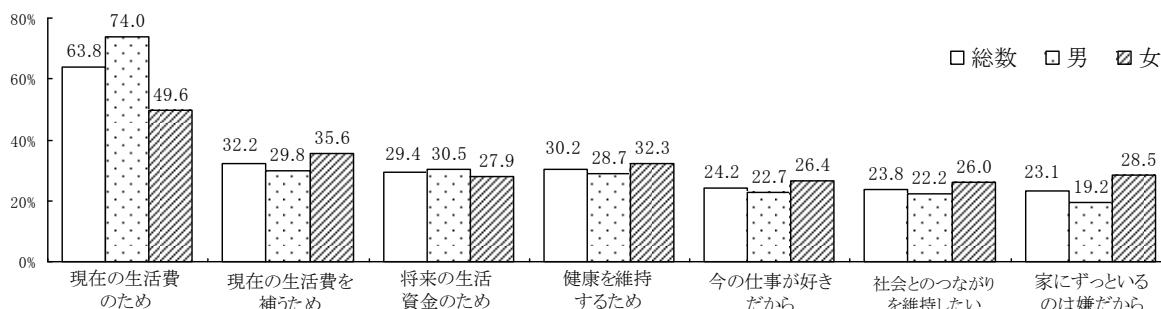
注:1)「60～64歳」の者を集計。

2)総数には第6回の仕事の有無・仕事のかたち及び第1回の60～64歳の就業希望の不詳を含む。

仕事をしている理由は、生活費関連の外、「健康を維持するため」、「今の仕事が好きだから」、「社会とのつながりを維持したい」も多い

第6回調査で「仕事をしている」者について、その理由をみると、「現在の生活費のため」が63.8%と最も多くなっている。一方、生活費等に関わる理由以外においても「健康を維持するため」で30.2%、「今の仕事が好きだから」で24.2%、「社会とのつながりを維持したい」で23.8%と多くなっている。(図1)

図1 仕事をしている理由(複数回答)



注: 1) 「60～64歳」で第6回に「仕事をしている」者を集計。
 2) 性別ごとの総数を100とした割合である。
 3) 仕事をしている理由の総数における上位7項目について表章した。

(2) 現在仕事をしていない者の就業希望

「仕事をしていない」者のうち、就業を希望する割合は31.3%

第6回調査で「仕事をしていない」者について就業希望と求職活動の状況を見ると、「仕事をしたい」割合は31.3%となっており、性別では、男40.9%、女27.1%と男の方が高くなっている。さらに、「仕事をしたい」と回答した者のうち、「仕事探しや開業準備をしている」割合は12.3%となっている。一方、「何もしていない」割合は18.0%となっており、その理由としては、男女ともに「病気・けがのため」、「希望する仕事がありそうにない」、「探したが見つからなかった」が多くなっている。(表2)

表2 「仕事をしていない」者の性別にみた就業希望の有無・求職活動の有無・求職活動をしていない理由

		(単位: %)		
		60～64歳		
		総数	男	女
第6回 有無・求職活動希望の有無・求職活動の理由	総数	(100.0)	(30.0)	(70.0)
	仕事をしたい	100.0	100.0	100.0
	仕事探しや開業準備をしている	31.3	40.9	27.1
	仕事を探している	12.3	19.9	9.0
	開業の準備をしている	11.7	19.0	8.5
	何もしていない	0.6	1.0	0.4
	探したが見つからなかった	(100.0) 18.0	(100.0) 20.0	(100.0) 17.2
	希望する仕事がありそうにない	(16.9) 3.0	(18.5) 3.7	(16.1) 2.8
	知識・能力に自信がない	(17.2) 3.1	(20.4) 4.1	(15.6) 2.7
	病気・けがのため	(4.0) 0.7	(1.3) 0.3	(5.4) 0.9
	高齢のため	(18.5) 3.3	(21.7) 4.3	(16.9) 2.9
	家事や育児のため	(7.3) 1.3	(3.8) 0.8	(9.1) 1.6
	家族の介護・看護のため	(6.2) 1.1	(1.0) 0.2	(8.8) 1.5
	急いで仕事に就く必要がない	(8.4) 1.5	(5.4) 1.1	(9.9) 1.7
	その他	(11.6) 2.1	(16.9) 3.4	(8.9) 1.5
仕事をしたくない	(9.8) 1.8	(10.9) 2.2	(9.3) 1.6	
	66.3	56.8	70.4	

注: 1) 「60～64歳」で第6回に「仕事をしていない」者を集計。
 2) 総数には第6回就業希望の有無・求職活動の有無の不詳を含む。

(3) 65歳以降の就業希望

仕事をしている者のうち、65～69歳で「仕事をしたい」割合は56.7%、70歳以降でも28.7%

第6回調査における65～69歳の就業希望をみると、「仕事をしたい」割合は44.0%で、男52.7%、女35.0%となっている。

さらに、仕事の有無・仕事のかたち別にみると、第6回に仕事をしている者の中で、「仕事をしたい」割合は56.7%となっており、仕事のかたちでは第6回の仕事が「自営業主・家族従業者」の中で「仕事をしたい」割合が78.1%と最も高くなっている。(表3)

また、70歳以降の就業希望についても、第6回において仕事をしている者の中で「仕事をしたい」割合が28.7%となっている。(表4)

表3 仕事の有無・仕事のかたち別にみた65～69歳での就業希望の有無・希望する仕事のかたち

(単位:%)

	第6回の65～69歳の就業希望・希望する仕事のかたち										
	総数	仕事をしたい	自営業主、 家業の手伝い	雇われて働く		近所の人や会社に頼まれて任意に行う仕事、有償型の社会参加活動	家庭での内職など、その他	仕事はしたくない	まだ考えていない		
				フルタイム	パートタイム						
60～64歳 総数	(100.0)	100.0	44.0	16.1	3.9	13.0	6.9	4.1	31.4	24.7	
仕事をしている	(65.1)	100.0	56.7	22.9	5.7	16.4	7.2	4.5	16.6	26.7	
自営業主、家族従業者	(17.1)	100.0	78.1	72.7	0.2	1.5	2.6	1.1	7.7	14.2	
会社・団体等の役員	(5.0)	100.0	56.7	17.7	8.2	5.6	10.8	14.4	16.4	26.9	
正規の職員・従業員	(12.5)	100.0	49.8	4.1	14.5	17.8	9.1	4.3	20.3	29.9	
パート・アルバイト	(15.6)	100.0	46.5	2.2	2.0	33.3	6.0	3.0	20.5	33.0	
労働者派遣事業所の派遣社員、 契約社員・嘱託	(12.5)	100.0	45.6	3.8	8.7	20.2	10.6	2.3	21.1	33.3	
家庭での内職など、その他	(2.4)	100.0	65.8	11.4	3.3	8.7	13.0	29.3	11.4	22.8	
仕事をしていない	(34.8)	100.0	20.1	3.4	0.6	6.4	6.4	3.3	59.0	21.0	
第6回 の 仕事 の有 無 ・ 仕事 のか たち	男	(100.0)	100.0	52.7	19.8	6.6	14.3	8.1	3.8	21.8	25.6
仕事をしている	(78.5)	100.0	59.5	24.3	7.9	15.1	7.9	4.3	14.3	26.2	
自営業主、家族従業者	(20.8)	100.0	80.7	75.5	0.2	1.2	2.8	1.0	5.7	13.6	
会社・団体等の役員	(8.1)	100.0	58.0	16.3	9.4	5.3	11.9	15.0	14.4	27.6	
正規の職員・従業員	(18.6)	100.0	50.8	4.2	16.0	17.5	9.0	4.1	18.9	30.3	
パート・アルバイト	(9.1)	100.0	58.3	3.1	3.9	42.0	7.6	1.7	12.3	29.4	
労働者派遣事業所の派遣社員、 契約社員・嘱託	(19.9)	100.0	46.0	4.3	9.6	19.2	10.4	2.6	20.3	33.6	
家庭での内職など、その他	(2.0)	100.0	64.6	6.3	7.6	12.7	12.7	25.3	11.4	24.1	
仕事をしていない	(21.4)	100.0	27.6	3.1	1.9	11.5	8.8	2.3	48.9	23.5	
女	(100.0)	100.0	35.0	12.3	1.2	11.5	5.7	4.3	41.3	23.7	
仕事をしている	(51.3)	100.0	52.3	20.7	2.3	18.6	6.1	4.8	20.2	27.5	
自営業主、家族従業者	(13.2)	100.0	73.9	68.3	-	2.0	2.2	1.4	11.0	15.2	
会社・団体等の役員	(1.9)	100.0	50.7	23.9	2.8	7.0	5.6	11.3	25.4	23.9	
正規の職員・従業員	(6.2)	100.0	46.8	3.8	9.8	18.7	9.4	5.1	24.7	28.5	
パート・アルバイト	(22.4)	100.0	41.5	1.9	1.2	29.6	5.4	3.5	23.9	34.5	
労働者派遣事業所の派遣社員、 契約社員・嘱託	(4.8)	100.0	44.0	1.6	4.9	24.7	11.5	1.1	24.2	31.9	
家庭での内職など、その他	(2.8)	100.0	66.7	15.2	-	5.7	13.3	32.4	11.4	21.9	
仕事をしていない	(48.7)	100.0	16.7	3.5	-	4.1	5.2	3.8	63.5	19.8	

注: 1) 「60～64歳」の者を集計。なお、第6回の65～69歳での就業希望が不詳の者は除いて集計した。
2) 総数には第6回の仕事の有無・仕事のかたちの不詳を含む。

表4 仕事の有無・仕事のかたち別にみた70歳以降での就業希望の有無・希望する仕事のかたち

(単位:%)

		第6回の70歳以降の就業希望・希望する仕事のかたち									
		総数	仕事をしたい	自営業主、 家業の手伝い	雇われて働く		近所の人や会社に頼まれて任意に行う仕事、有償型の社会参加活動	家庭での内職など、その他	仕事はしたくない	まだ考えていない	
					フルタイム	パートタイム					
第6回の仕事の有無・仕事のかたち	60～64歳										
	総数	(100.0)	100.0	22.5	10.3	1.0	3.9	4.2	3.0	44.6	32.9
	仕事をしている	(65.1)	100.0	28.7	14.5	1.3	5.0	4.7	3.3	33.0	38.2
	自営業主、家族従業者	(16.9)	100.0	49.1	44.8	0.1	0.5	2.3	1.4	22.1	28.7
	会社・団体等の役員	(5.2)	100.0	26.7	8.5	1.8	2.6	5.9	8.0	32.6	40.6
	正規の職員・従業員	(12.5)	100.0	22.6	3.5	2.9	6.9	6.3	3.1	37.3	40.1
	パート・アルバイト	(15.5)	100.0	17.6	2.0	0.4	8.4	4.4	2.3	37.4	45.1
	労働者派遣事業所の派遣社員、 契約社員・嘱託	(12.6)	100.0	20.0	3.8	2.4	5.9	6.0	1.9	39.8	40.2
	家庭での内職など、その他	(2.4)	100.0	40.0	8.9	1.1	3.9	5.6	20.6	24.4	35.6
	仕事をしていない	(34.8)	100.0	10.7	2.6	0.4	1.9	3.3	2.6	66.2	23.1
	男	(100.0)	100.0	27.8	13.0	1.6	4.8	5.4	3.0	36.1	36.1
	仕事をしている	(78.7)	100.0	31.2	16.0	1.7	5.0	5.4	3.1	30.1	38.7
	自営業主、家族従業者	(20.8)	100.0	52.1	48.0	0.1	0.4	2.4	1.3	18.6	29.3
	会社・団体等の役員	(8.3)	100.0	28.9	8.5	1.6	3.1	7.2	8.5	31.1	39.9
	正規の職員・従業員	(18.6)	100.0	23.3	3.8	3.2	7.0	6.6	2.8	35.5	41.2
	パート・アルバイト	(8.9)	100.0	23.8	2.6	0.9	11.4	6.2	2.6	26.4	49.9
	労働者派遣事業所の派遣社員、 契約社員・嘱託	(20.1)	100.0	20.1	4.4	2.2	5.7	6.2	1.7	38.7	41.2
	家庭での内職など、その他	(2.1)	100.0	40.5	5.1	2.5	5.1	8.9	19.0	26.6	32.9
	仕事をしていない	(21.2)	100.0	14.8	2.1	1.2	3.8	5.1	2.6	58.5	26.7
女	(100.0)	100.0	17.0	7.5	0.4	3.1	2.9	3.1	53.4	29.6	
仕事をしている	(51.1)	100.0	24.8	12.1	0.7	5.0	3.4	3.5	37.7	37.5	
自営業主、家族従業者	(12.9)	100.0	44.1	39.5	-	0.8	2.1	1.7	28.0	27.8	
会社・団体等の役員	(1.9)	100.0	16.9	8.5	2.8	-	-	5.6	39.4	43.7	
正規の職員・従業員	(6.2)	100.0	20.2	2.6	1.8	6.6	5.3	3.9	43.0	36.8	
パート・アルバイト	(22.5)	100.0	15.0	1.7	0.2	7.2	3.7	2.2	41.9	43.1	
労働者派遣事業所の派遣社員、 契約社員・嘱託	(4.8)	100.0	19.2	1.1	3.4	6.8	5.1	2.8	44.6	36.2	
家庭での内職など、その他	(2.7)	100.0	39.6	11.9	-	3.0	3.0	21.8	22.8	37.6	
仕事をしていない	(48.9)	100.0	8.8	2.8	-	1.0	2.4	2.6	69.7	21.4	

注:1)「60～64歳」の者を集計。なお、第6回の70歳以降での就業希望が不詳の者は除いて集計した。

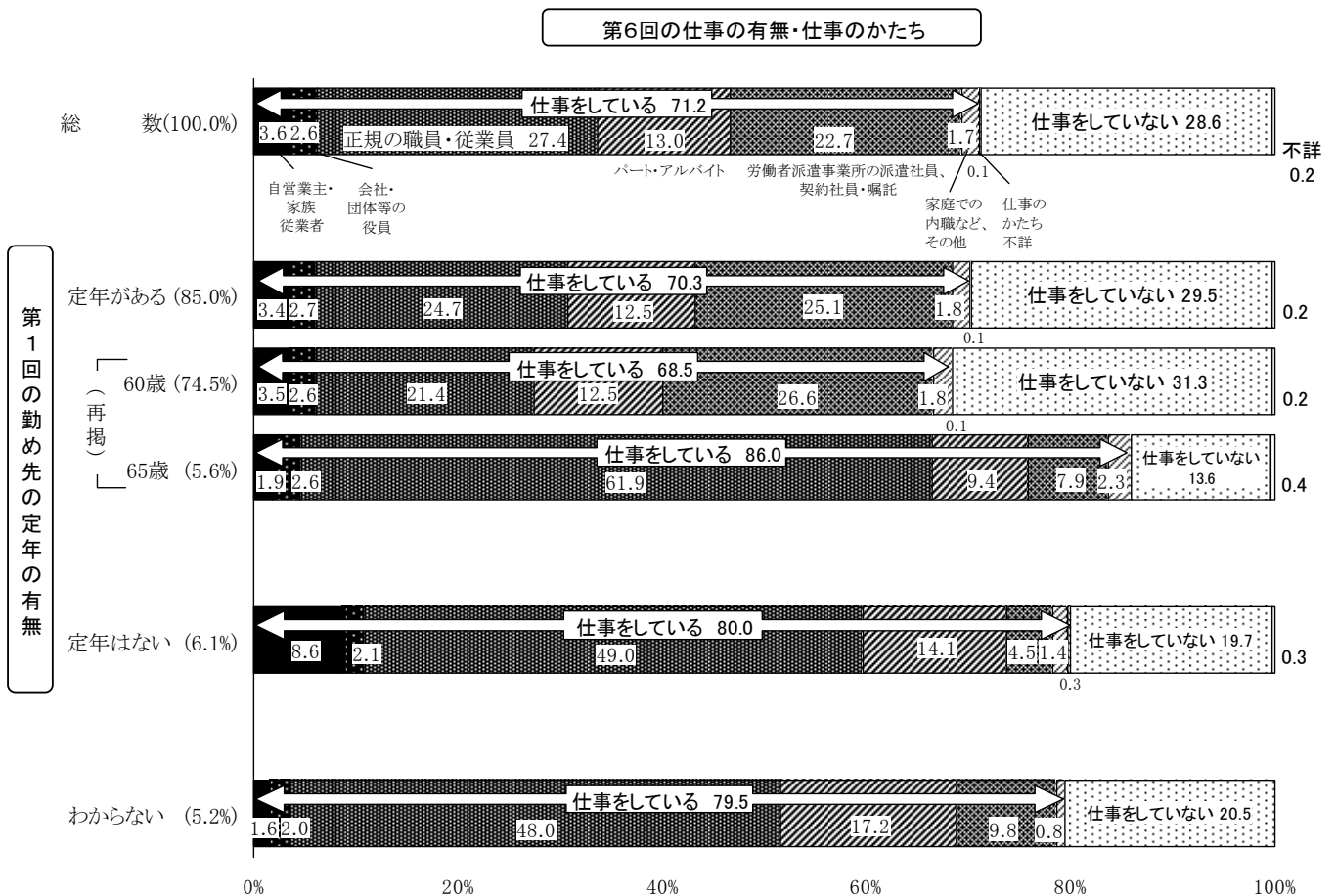
2)総数には第6回の仕事の有無・仕事のかたちの不詳を含む。

(4) 第1回調査時の勤め先における定年制度ごとの第6回調査の就業状況

第1回調査(55~59歳)時の勤め先の定年が「60歳」の者のうち、第6回調査で仕事をしている割合は68.5%、また、定年年齢が高くなる、定年がない方が仕事をしている割合が高い

第1回調査時の勤め先における定年制度ごとに、第6回調査で「仕事をしている」割合をみると、第1回で定年年齢が「60歳」では68.5%となっているのに対し、定年年齢が「65歳」で86.0%、「定年はない」で80.0%と、定年年齢が高くなる又は定年がない方が仕事をしている割合が高くなっている。(図2)

図2 第1回調査における勤め先の定年制度ごとにみた第6回調査の仕事の有無・仕事のかたち



注:1)「60~64歳」で第1回に仕事をしていて、仕事のかたちが「正規の職員・従業員」の者を集計。
 2)総数には第1回の勤め先の定年の有無の不詳を含む。

(5)生活のまかない方の希望と実態

第1回調査(55～59歳)時に60～64歳の生活を、主に「働いて得た所得(本人)」でまかなうつもりだった者のうち、第6回調査の収入の中に「働いて得た所得」がある割合は70.9%、一方、主に「公的年金」でまかなうつもりだった者でも、収入の中に「働いて得た所得」がある割合は46.5%で、特に男で60.4%と高くなっている

第1回調査時に60～64歳の生活のまかない方について回答した結果と、第6回調査の1か月間の収入の状況をみると、60～64歳の生活を、主に「働いて得た所得(本人)」でまかなうつもりだった者のうち、第6回の収入の中に「働いて得た所得」がある割合は70.9%となっており、性別にみると、男74.3%、女64.9%と男の方が高くなっている。また、「公的年金」がある割合は60.7%で、性別による大きな違いはみられない。

一方、60～64歳の生活を、主に「公的年金」でまかなうつもりだった者のうちでも、第6回の収入の中に「働いて得た所得」がある割合は46.5%となっており、性別にみると、男60.4%、女36.9%と男女の差が大きくなっている。(表5)

表5 第1回調査における60～64歳の生活のまかない方別にみた
第6回調査の収入の有無・収入の種類(複数回答)

(単位:%)

		第6回の収入の有無・収入の種類(複数回答)											
		総数	収入あり	働いて得た所得	公的年金	雇用保険	生活保護等の社会保障給付金	私的年金	子供等からの仕送り	資産収入	その他	収入なし	
第1回の60～64歳の生活のまかない方(主なもの3つまで)	60～64歳 総数	(100.0)	100.0	83.5	54.4	58.6	2.1	0.4	10.0	0.7	3.9	1.6	15.1
	働いて得た所得(本人)	(52.3)	100.0	91.9	70.9	60.7	2.6	0.3	9.7	0.8	4.4	1.5	7.2
	働いて得た所得(配偶者)	(23.0)	100.0	73.8	41.9	53.6	1.1	0.1	8.3	0.6	2.7	1.5	25.3
	働いて得た所得(その他の同居人)	(2.0)	100.0	76.6	38.8	56.1	3.2	1.1	9.0	2.5	2.5	4.0	21.6
	資産収入	(4.2)	100.0	88.7	53.6	60.1	1.9	0.2	15.1	0.9	41.6	3.4	9.8
	預貯金の取り崩し	(23.9)	100.0	81.2	45.2	63.8	2.6	0.1	12.8	0.8	3.9	2.2	18.1
	退職金	(20.8)	100.0	87.8	51.4	68.7	3.8	0.1	16.3	0.3	3.8	2.0	11.8
	公的年金	(38.1)	100.0	83.3	46.5	67.8	1.7	0.2	11.0	0.8	4.1	1.7	15.5
	私的年金	(14.2)	100.0	83.2	44.4	63.1	2.2	0.1	30.0	0.3	4.9	2.3	15.7
	親族等からの仕送り	(0.3)	100.0	58.5	26.8	51.2	2.4	-	4.9	7.3	-	2.4	41.5
	その他	(5.2)	100.0	80.6	52.8	54.0	1.7	2.8	7.0	0.7	4.2	2.8	17.7
	男	(100.0)	100.0	92.7	68.0	61.6	3.1	0.4	11.2	0.4	5.0	1.6	6.4
	働いて得た所得(本人)	(70.4)	100.0	93.9	74.3	59.9	3.2	0.3	10.4	0.4	5.0	1.4	5.4
	働いて得た所得(配偶者)	(5.8)	100.0	93.4	69.0	64.6	3.4	-	9.2	0.3	4.2	1.6	5.2
	働いて得た所得(その他の同居人)	(1.3)	100.0	91.6	57.8	60.2	4.8	-	7.2	2.4	4.8	6.0	7.2
	資産収入	(4.7)	100.0	94.5	65.6	62.0	3.2	0.3	14.9	0.6	48.4	3.9	3.9
	預貯金の取り崩し	(20.9)	100.0	92.2	60.2	70.7	4.4	0.1	16.1	0.6	5.2	2.5	7.6
退職金	(28.3)	100.0	93.7	60.9	71.7	4.9	0.1	18.0	0.3	4.7	2.3	6.0	
公的年金	(32.7)	100.0	92.8	60.4	72.5	2.6	0.2	12.9	0.4	5.6	1.8	6.5	
私的年金	(11.6)	100.0	92.8	61.2	64.3	4.1	0.1	34.6	0.1	6.2	2.4	6.6	
親族等からの仕送り	(0.2)	100.0	70.0	20.0	60.0	10.0	-	-	-	-	-	30.0	
その他	(6.0)	100.0	89.0	65.5	55.5	2.0	2.3	6.9	0.3	5.4	2.8	10.5	
女	(100.0)	100.0	75.2	42.1	56.0	1.2	0.3	9.0	1.0	3.0	1.7	23.0	
働いて得た所得(本人)	(35.9)	100.0	88.3	64.9	62.0	1.5	0.3	8.5	1.4	3.3	1.6	10.5	
働いて得た所得(配偶者)	(38.5)	100.0	71.1	38.2	52.1	0.8	0.1	8.2	0.7	2.5	1.5	28.0	
働いて得た所得(その他の同居人)	(2.7)	100.0	70.3	30.8	54.4	2.6	1.5	9.7	2.6	1.5	3.1	27.7	
資産収入	(3.8)	100.0	82.1	40.1	58.0	0.4	-	15.3	1.1	33.9	2.9	16.4	
預貯金の取り崩し	(26.6)	100.0	73.4	34.5	59.0	1.3	0.2	10.5	1.0	3.0	2.1	25.6	
退職金	(14.0)	100.0	76.8	34.0	63.3	1.8	0.1	13.1	0.2	2.3	1.5	22.5	
公的年金	(42.9)	100.0	76.7	36.9	64.6	1.1	0.2	9.6	1.1	3.1	1.6	21.6	
私的年金	(16.6)	100.0	77.1	33.7	62.3	1.0	0.1	27.1	0.4	4.1	2.2	21.5	
親族等からの仕送り	(0.4)	100.0	54.8	29.0	48.4	-	-	6.5	9.7	-	3.2	45.2	
その他	(4.5)	100.0	70.6	37.6	52.3	1.2	3.4	7.0	1.2	2.8	2.8	26.3	

注:1)「60～64歳」の者を集計。

2)総数には第6回の収入の有無の不詳を含む。

(6)借入金、預貯金と仕事の状況

仕事をしている割合は「借入金なし」56.2%よりも「借入金あり」75.5%が高くなっている

第6回調査時の借入金の有無別に仕事の有無、仕事のかたちをみると、「借入金あり」と回答した者の中で「仕事をしている」割合が75.5%となっており、仕事のかたちとしては「自営業主、家族従業者」が26.5%、「パート・アルバイト」が16.5%となっている。一方、「借入金なし」と回答した者の中でも「仕事をしている」割合は56.2%となっている。(表6)

表6 借入金の有無・借入金額階級別にみた仕事の有無・仕事のかたち

		第6回の仕事の有無・仕事のかたち (単位:%)									
		総数	仕事をしている	仕事のかたち							仕事をしていない
				自営業主、 家族従業者	会社・団体等 の役員	正規の職員・ 従業員	パート・ アルバイト	労働者派遣事業 所の派遣社員、 契約社員・嘱託	家庭での内職 など、その他		
借入金 額の階級 の有無・ 借入金なし	60～64歳 総数	(100.0)	100.0	62.0	17.2	4.0	11.0	16.4	10.5	2.7	37.8
	借入金あり	(29.8)	100.0	75.5	26.5	5.8	13.6	16.5	10.6	2.2	24.4
	100万円未満	(3.1)	100.0	71.1	16.9	1.6	14.8	23.2	11.5	3.1	28.9
	100～500万円未満	(9.3)	100.0	77.8	26.2	4.6	15.3	18.4	10.7	2.3	22.2
	500～1,000万円未満	(4.8)	100.0	75.4	26.9	5.7	15.0	13.8	11.0	2.4	24.5
	1,000～2,000万円未満	(4.5)	100.0	77.4	25.7	7.9	13.0	16.9	12.2	1.6	22.5
	2,000万円以上	(3.7)	100.0	77.6	37.8	10.7	9.6	8.4	9.9	1.2	22.4
	借入金なし	(68.6)	100.0	56.2	13.1	3.3	9.9	16.4	10.6	2.8	43.6

注: 1) 「60～64歳」を集計。
2) 総数には第6回の仕事の有無・仕事のかたち及び第6回の借入金の有無・借入金額の不詳を含む。

第1回調査(55～59歳)時の預貯金額階級が上がるごとに、仕事をしている割合は低くなっている

第1回調査時における預貯金の有無別に第6回調査の仕事の有無、仕事のかたちをみると、第1回で「預貯金あり」と回答した者の中で第6回に「仕事をしている」割合が61.1%、第1回で「預貯金なし」と回答した者の中で第6回に「仕事をしている」割合が66.1%となっている。

預貯金額階級別にみると、第1回で「100万円未満」と回答した者の中で、第6回に「仕事をしている」割合は73.1%と最も高くなっており、金額が上がるごとにその割合は低くなっている。(表7)

表7 第1回調査の預貯金の有無・預貯金額階級別にみた
第6回調査の仕事の有無・仕事のかたち

		第6回の仕事の有無・仕事のかたち (単位:%)									
		総数	仕事をしている	仕事のかたち							仕事をしていない
				自営業主、 家族従業者	会社・団体等 の役員	正規の職員・ 従業員	パート・ アルバイト	労働者派遣事業 所の派遣社員、 契約社員・嘱託	家庭での内職 など、その他		
預貯金 額の階級 の有無・ 預貯金なし	60～64歳 総数	(100.0)	100.0	62.0	17.2	4.0	11.0	16.4	10.5	2.7	37.8
	預貯金あり	(69.5)	100.0	61.1	16.8	4.8	10.4	15.4	11.1	2.4	38.7
	100万円未満	(2.4)	100.0	73.1	14.4	2.7	18.6	22.5	10.8	3.6	26.3
	100～500万円未満	(16.9)	100.0	68.3	19.2	3.8	12.6	18.3	12.0	2.4	31.6
	500～1,000万円未満	(13.8)	100.0	63.7	15.0	5.0	11.2	17.3	12.6	2.3	36.2
	1,000～2,000万円未満	(13.5)	100.0	57.3	15.1	4.6	9.8	14.1	11.2	2.3	42.5
	2,000万円以上	(14.8)	100.0	53.2	17.1	5.9	7.6	10.8	9.3	2.2	46.7
	預貯金なし	(23.1)	100.0	66.1	18.1	1.9	13.3	19.9	9.6	3.2	33.7

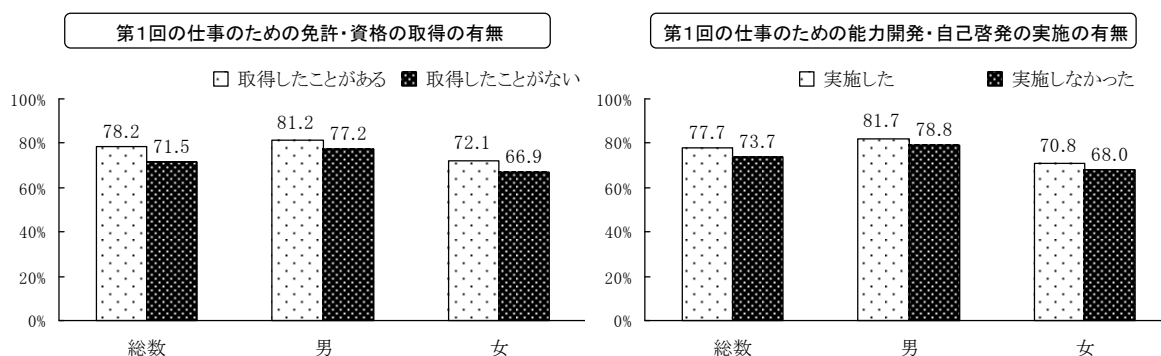
注: 1) 「60～64歳」を集計。
2) 総数には第6回の仕事の有無・仕事のかたち及び第1回の預貯金の有無・預貯金額の不詳を含む。

(7) 仕事のための免許・資格の取得の有無及び能力開発・自己啓発の実施の有無と仕事の状況

第1回調査(55～59歳)時において、仕事のための免許・資格を「取得したことがある」方が、仕事をしている割合が高い

第1回調査時における「今までの、仕事のための免許・資格の取得」の有無別に第6回調査で「仕事をしている」割合をみると、男女とも、第1回で免許・資格を「取得したことがある」と回答した者の方が高い。また、第1回調査における仕事のための能力開発・自己啓発の実施の有無別にみても、同様の傾向がみられる。(図3)

図3 第1回調査の仕事のための免許・資格の取得及び能力開発・自己啓発の実施の有無別にみた第6回調査の「仕事をしている」割合



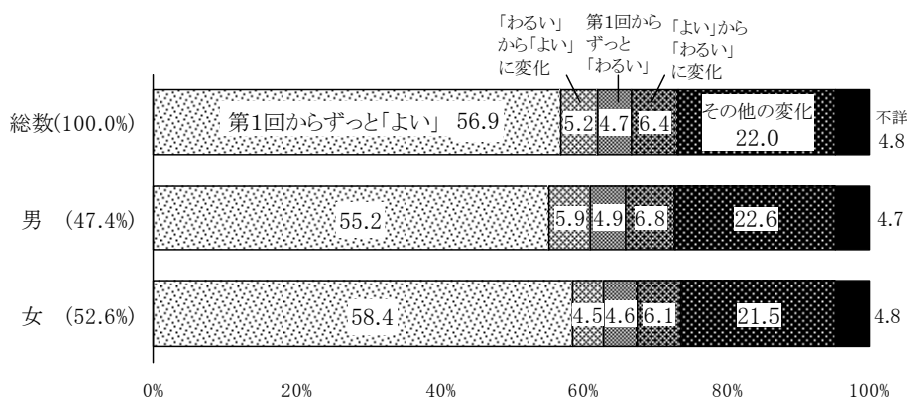
注: 1) 「60～64歳」で第1回に「仕事をしている」者を集計。
 2) 「性、第1回の仕事のための免許・資格の取得の有無」及び「性、第1回の仕事のための能力開発・自己啓発の実施の有無」ごとの総数を100とした割合である。

(8) 健康状態の変化及び健康維持のために心がけていること

健康状態が「第1回からずっと「よい」」割合は 56.9%

健康状態の変化をみると、第1回から第6回調査まで毎回「よい」と回答した「第1回からずっと「よい」」が56.9%となっており、性別にみると、男 55.2%、女 58.4%と女の方が若干高くなっている。また、「「よい」から「わるい」に変化」6.4%、「「わるい」から「よい」に変化」5.2%、「第1回からずっと「わるい」」4.7%となっている。(図4)

図4 第1回調査からの健康状態の変化



注: 「60～64歳」の者を集計。

第6回調査で健康状態が「よい」と回答した者の割合は 79.4%であり、第1回調査時から継続して健康維持のために心がけていることが「適度な運動をする」、「年に1回以上人間ドックを受診する」、「ストレスをためない」と回答した者で高い

第6回調査で健康状態が「よい」と回答した者の割合は 79.4%であり、第1回調査時から継続して健康維持のために心がけていること別に第6回調査における健康状態をみると、「適度な運動をする」87.6%、「年に1回以上人間ドックを受診する」87.2%、「ストレスをためない」86.9%等で健康状態が「よい」の割合が高くなっている。また、性別にみると、男では「年に1回以上人間ドックを受診する」が 87.6%、「適正体重を維持する」が 86.7%、女では「適度な運動をする」が 88.8%、「ストレスをためない」が 87.8%と高くなっている。(表8)

表8 第1回調査から継続して健康維持のために心がけていること(複数回答)別にみた
第6回調査の健康状態

(単位:%)

		第6回の健康状態											
		総数			男			女					
		総数	よい	わるい	総数	よい	わるい	総数	よい	わるい			
第1回から継続して健康維持のために心がけていること(複数回答)	60～64歳												
	総数	(100.0)	100.0	79.4	19.5	(100.0)	100.0	78.6	20.4	(100.0)	100.0	80.1	18.8
	お酒を飲み過ぎない	(5.9)	100.0	83.8	15.5	(10.3)	100.0	83.5	15.8	(1.9)	100.0	85.0	14.3
	たばこを吸い過ぎない	(2.8)	100.0	79.9	18.6	(4.4)	100.0	81.3	18.1	(1.4)	100.0	76.2	20.0
	適度な運動をする	(18.9)	100.0	87.6	12.0	(17.1)	100.0	85.9	13.6	(20.5)	100.0	88.8	10.8
	年に1回以上人間ドックを受診する	(5.3)	100.0	87.2	11.8	(6.4)	100.0	87.6	11.7	(4.3)	100.0	86.7	12.0
	食事の量に注意する	(18.8)	100.0	82.6	16.7	(15.2)	100.0	82.7	16.8	(22.2)	100.0	82.6	16.6
	バランスを考え多様な食品をとる	(16.9)	100.0	86.3	12.9	(8.6)	100.0	86.1	13.2	(24.4)	100.0	86.3	12.8
	錠剤、カプセル、顆粒、ドリンク状のビタミンやミネラルを摂取する	(5.5)	100.0	79.7	19.7	(4.1)	100.0	76.8	22.9	(6.7)	100.0	81.3	17.9
	適正体重を維持する	(15.3)	100.0	86.4	13.0	(12.3)	100.0	86.7	12.8	(18.0)	100.0	86.1	13.1
	食後の歯磨きをする	(16.1)	100.0	83.5	15.6	(9.6)	100.0	84.6	15.1	(22.0)	100.0	83.1	15.8
	適度な休養をとる	(9.8)	100.0	86.0	13.4	(7.0)	100.0	85.5	13.7	(12.3)	100.0	86.2	13.2
	ストレスをためない	(15.0)	100.0	86.9	12.3	(12.5)	100.0	85.6	13.5	(17.2)	100.0	87.8	11.5
特にない	(0.7)	100.0	72.8	25.0	(0.7)	100.0	69.6	26.1	(0.6)	100.0	76.1	23.9	

注:1)「60～64歳」の者を集計。

2)総数には第6回の健康状態の不詳を含む。

3)「第1回から継続して健康維持のために心がけていること」とは、第1回から第6回まで継続して同じ内容を選択したものである。

2 家族の状況

この5年間で「夫婦のみの世帯」は増加、「親なし子ありの世帯」「三世代世帯」は減少

第1回調査から第6回調査までの同居者の構成をみると、「夫婦のみの世帯」は第1回 20.9%から第6回 30.1%と増加しており、「親なし子ありの世帯」は第1回 38.9%から第6回 32.4%、「三世代世帯」は第1回 22.8%から第6回 18.0%と減少している(図5)。

第1回から第6回で、同居者の構成がどのように変化したかをみると、「親なし子ありの世帯」から「夫婦のみの世帯」に変化した割合は 24.5%、「三世代世帯」から「親なし子ありの世帯」に変化した割合が 16.9%、「親あり子なしの世帯」から「夫婦のみの世帯」に変化した割合は 16.2%となっている(表9)。

図5 第1回調査から第6回調査までの同居者の構成

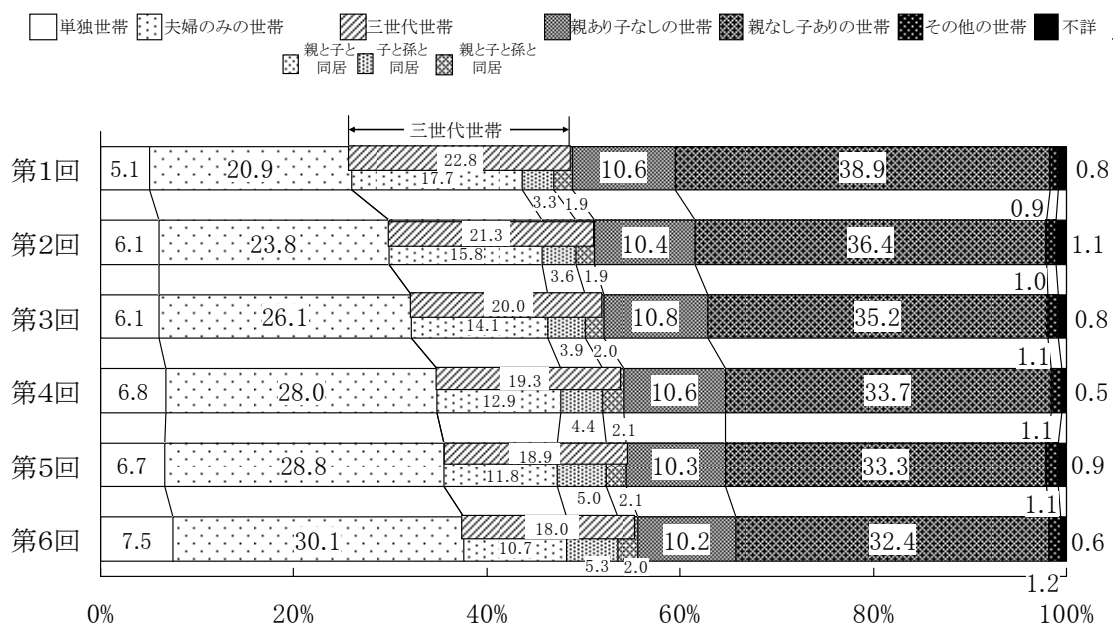


表9 同居者の構成の変化

(単位: %)

	第6回の同居者の構成							
	総数	単独世帯	夫婦のみの世帯	三世代世帯	親あり子なしの世帯	親なし子ありの世帯	その他の世帯	不詳
第1回の同居者の構成	(100.0)	7.5	30.1	18.0	10.2	32.4	1.2	
単独世帯	(5.1)	100.0	76.3	6.4	2.6	3.7	8.3	1.8
夫婦のみの世帯	(20.9)	100.0	3.1	77.6	5.1	2.2	10.2	0.5
三世代世帯	(22.8)	100.0	1.8	8.3	58.7	13.6	16.9	0.5
親あり子なしの世帯	(10.6)	100.0	8.2	16.2	11.7	57.8	3.3	2.2
親なし子ありの世帯	(38.9)	100.0	3.3	24.5	5.4	0.8	65.3	0.3
その他の世帯	(0.9)	100.0	14.3	13.9	3.1	2.2	4.9	60.5

注: 総数には第1回及び第6回の同居者の構成の不詳を含む。

表10 第6回調査の配偶者の有無

(単位: %)

	第6回の配偶者の有無									
	総数			男			女			
	総数	配偶者あり	配偶者なし	総数	配偶者あり	配偶者なし	総数	配偶者あり	配偶者なし	
総数	(100.0)	100.0	86.1	13.6	100.0	88.2	11.5	100.0	84.2	15.4
55~59歳	(45.2)	100.0	86.7	13.0	100.0	87.4	12.2	100.0	86.1	13.7
60~64歳	(54.8)	100.0	85.5	14.1	100.0	88.9	11.0	100.0	82.5	16.9

注: 総数には第6回の配偶者の有無の不詳を含む。

参 考

参考1

各図表の集計客体数は、以下のとおり。

図表番号	集計対象	客体数		
		総数	男	女
図5、表9、表10	第1回から第6回まで回答した者	25 157	11 873	13 284
	55～59歳	11 365	5 332	6 033
表1、表5、表6、表7、 図4、表8	60～64歳	13 792	6 541	7 251
図1	第6回に「仕事をしている」者	8 551	4 967	3 584
表2	第6回に「仕事をしていない」者	5 216	1 564	3 652
図2	第1回に仕事をしていて、仕事のかたちが「正規の職員・従業員」の者	4 722	3 533	1 189
図3	第1回に「仕事をしている」者	10 841	6 084	4 757
表3	60～64歳(第6回の65～69歳の就業希望・希望する仕事のかたちが不詳の者を除く)	7 732	3 934	3 798
表4	60～64歳(第6回の70歳以降の就業希望・希望する仕事のかたちが不詳の者を除く)	7 548	3 850	3 698

参考2

図3に掲載した項目の構成割合は、以下のとおり。

第1回調査の仕事のための免許・資格の取得及び能力開発・自己啓発の実施の有無別にみた
第6回調査の仕事の有無

(単位:%)

		第6回の仕事の有無			
		総数	仕事をしている	仕事をしていない	
資格1 の回 取 得 免 状 許 況 ・	60～64歳				
	総数	(100.0)	100.0	74.9	25.0
	取得したことがある	(49.4)	100.0	78.2	21.6
	取得したことがない	(47.1)	100.0	71.5	28.4
	男	(100.0)	100.0	79.6	20.3
	取得したことがある	(59.3)	100.0	81.2	18.7
取得したことがない	(37.3)	100.0	77.2	22.7	
女	(100.0)	100.0	68.8	31.0	
取得したことがある	(36.7)	100.0	72.1	27.7	
取得したことがない	(59.5)	100.0	66.9	32.9	

注:1)「60～64歳」で第1回に「仕事をしている」者を集計。

2) 総数には第6回の仕事の有無及び第1回の免許・資格の取得状況の不詳を含む。

(単位:%)

		第6回の仕事の有無			
		総数	仕事をしている	仕事をしていない	
自己1 回 の能 力 開 発 実 施 状 況 ・	60～64歳				
	総数	(100.0)	100.0	74.9	25.0
	実施した	(28.6)	100.0	77.7	22.3
	実施しなかった	(66.3)	100.0	73.7	26.1
	男	(100.0)	100.0	79.6	20.3
	実施した	(32.3)	100.0	81.7	18.3
実施しなかった	(62.7)	100.0	78.8	21.0	
女	(100.0)	100.0	68.8	31.0	
実施した	(23.8)	100.0	70.8	29.2	
実施しなかった	(71.0)	100.0	68.0	31.8	

注:1)「60～64歳」で第1回に「仕事をしている」者を集計。

2) 総数には第6回の仕事の有無及び第1回の能力開発・自己啓発の実施状況の不詳を含む。

用語の定義

「調査年」

「第1回」～「第6回」とは、それぞれの回の調査で把握した項目で、各調査年は次のとおり。

- 第1回(第1回調査) 平成17年
- 第2回(第2回調査) 平成18年
- 第3回(第3回調査) 平成19年
- 第4回(第4回調査) 平成20年
- 第5回(第5回調査) 平成21年
- 第6回(第6回調査) 平成22年

「仕事をしている」

ふだん収入になる仕事をしている場合をいう。

「仕事をしていない」

パート・アルバイト、内職等も全くしていない場合をいう。

仕事のかたち

「自営業主」

個人経営の商店主・工場主・農業主等の事業主や開業医・弁護士・著述家・行商従事者等をいう。

なお、法人組織(株式・合資・合名の各会社)になっている商店の経営者の場合は、「会社・団体等の役員」としている。

「家族従業者」

農家や個人商店等で農作業や店の仕事等を手伝っている家族をいう。

「会社・団体等の役員」

会社の社長・取締役・監査役、団体の理事(長)・監事、公団や事業団の総裁・理事等をいう。

なお、部長、課長等のいわゆる管理職の場合は、理事等の役員になっていなければ、含まれない。

「正規の職員・従業員」

会社・団体・官公庁・個人商店等に雇用期間の定めなく雇われている人をいう。

「パート・アルバイト」

就業時間や日数に関係なく、勤務先で「パートタイマー」「アルバイト」または、それらに近い呼称で呼ばれている人をいう。

「労働者派遣事業所の派遣社員」

労働者派遣法に基づく労働者派遣事業所に雇用され、そこから派遣されている人をいう。

「契約社員・嘱託」

専門的職種に従事させることを目的に契約に基づき雇用されている人や雇用期間の定めのある人、労働条件や契約期間に関係なく、勤務先で「嘱託職員」または、それに近い呼称で呼ばれている人をいう。

「家庭での内職など」

家庭で賃仕事をしている人をいう。

「その他」

仕事のかたち「自営業主」～「家庭での内職など」以外をいう。

「就業希望の有無・希望する仕事のかたち」

第1回及び第6回に「60～64歳」「65～69歳」「70歳以降」の年齢区分ごとに希望している仕事のかたちをいう。今回の集計では、第1回の「60～64歳」、第6回の「65～69歳」及び「70歳以降」の年齢区分の回答を使用した。

「生活のまかない方」

第1回に、60歳以降の生活をまかなうために、「60～64歳」「65～69歳」「70歳以降」の年齢区分ごとに選択した主な3つをいう。今回の集計では「60～64歳」の年齢区分の回答を使用した。

「借入金」

調査日における借入金をいう。

土地・家屋の購入、耐久消費財の購入、教育資金などに充てるために借り入れたもので、金融機関のほか、勤め先の会社、共済組合、親戚・知人からのものも含む。

「預貯金」

調査日における預貯金で、以下のものが該当する。

- ・金融機関への貯金(預金)
- ・生命保険、個人年金保険、損害保険、簡易保険のこれまでに払い込んだ保険料(掛け捨ての保険は除く。)
- ・株式、株式投資信託、債権、公社債投資信託、金銭信託、貸付信託(株・債権は時価で計算した額)
- ・その他の預貯金(財形貯蓄、社内預金等)

「仕事のための免許・資格の取得」

第1回調査時まで、今までに仕事のために免許・資格(医療専門職、社会福祉専門職等の医療・保健衛生・社会福祉関係、幼稚園・学校教諭免許、専門的事務処理技能等の事務処理関係、車両運転船舶運転免許などの運輸・通信関係など)を取得したことの有無をいう。

「仕事のための能力開発・自己啓発の実施」

第1回調査時までの1年間(平成16年11月～平成17年10月)に仕事のための能力開発・自己啓発(「公共機関(学校を除く)に通った」、「大学や各種学校等の学校に通った」、「団体・会社等民間の機関(学校を除く)に通った」)について、実施したことの有無をいう。

健康状況

「よい」

調査日現在の健康状態について、「大変良い」「良い」「どちらかといえば良い」と回答した者をいう。

「わるい」

調査日現在の健康状態について、「どちらかといえば悪い」「悪い」「大変悪い」と回答した者をいう。

健康状態の変化

「第1回からずっと「よい」」

第1回から第6回までの健康状態において、継続して「よい」と回答した者をいう。

「「わるい」から「よい」に変化」

第1回の健康状態が「わるい」と回答した者のうち、第6回までに「よい」となった場合をいう。第2回で「よい」、第3回で「わるい」と回答した場合、「その他の変化」としている。

「「よい」から「わるい」に変化」

第1回の健康状態が「よい」と回答した者のうち、第6回までに「わるい」となった場合をいう。第2回で「わるい」、第3回で「よい」と回答した場合、「その他の変化」としている。

「第1回からずっと「わるい」」

第1回から第6回までの健康状態において、継続して「わるい」と回答した者をいう。

「配偶者」「夫婦」

事実上夫婦として生活しているが、婚姻届を提出していない者も含む。

「同居者の構成」

同居している者の続柄から分類している。「単独世帯」「夫婦のみの世帯」以外は、兄弟姉妹やその他の親族がいる場合を含む。親には配偶者の親も含む。

「単独世帯」

配偶者の有無を問わず、本人以外に同居者がいない場合

「夫婦のみの世帯」

本人と配偶者以外に同居者がいない場合

「三世代世帯」

本人が親・子と同居している、本人が子・孫と同居している、または子の有無を問わず本人が親・孫と同居している場合

「親あり子なしの世帯」

本人と親が同居していて、子がない場合

「親なし子ありの世帯」

本人と子が同居していて、親がない場合

「その他の世帯」

上記以外